

第41回階上町社会福祉大会開催 ～たくさんのご来場ありがとうございました～

第41回町社会福祉大会が、11月22日ハートフルプラザで開催されました。今年度は、認知症サポーター養成講座として、東八戸病院 リハビリテーション科科长 大塚基永氏より「みんなで学ぶ認知症のこと」と題して講演をいただいた後、認知症の方への対応方法等について、いちごに会による健康福祉劇が行われました。講座の最後には、レディースコーラス階上のみなさんや町職員、町内介護保険事業所職員などが一緒になり、認知症の方や家族、高齢者支援をしている方々への応援歌として作られた「にじいろはしかみ」の合唱が披露されました。

また、石鉢小学校と道仏中学校の児童・生徒より、ボランティア推進校活動発表や、続く大会式典では、社会福祉発展にご貢献された方々などへ表彰状や感謝状の贈呈、赤い羽根共同募金作文コンクール2019、中学生の部で最優秀賞に選ばれた、佐藤優剛さん（道仏中2年）と社会福祉作文で最優秀に選ばれた河合美結さん（道仏小6年）と川口陽世さん（階上中3年）の作文発表などが行われました。

会場内では、介護機器の展示や町母子寡婦福祉会の物品販売、町手をつなぐ育成会のコーヒー販売なども行われました。

なお、表彰を受けられた方々は以下のとおりです。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

・青森県社会福祉大会長表彰

下野禮知子（民生委員児童委員）	嶋 文男（町社協常務理事）
福館富美子（階上保育園職員）	戸久世正子（ほのほの交流協力員）
大沢 敬子（ほのほの交流協力員）	向井むつ子（ほのほの交流協力員）
寅谷 千工（ほのほの交流協力員）	下坪 昭子（ほのほの交流協力員）
小松田鶴子（ほのほの交流協力員）	房間 幸子（ほのほの交流協力員）

名誉大会長授与

《表彰の部》

・民生委員児童委員永年勤続者

齋藤トモ子	土橋 秀子	地代所幸子	境 光雄
上長根武志	下野 京子		

・福祉団体役職員等永年勤続者

南上 義雄（町老人クラブ連合会役員）	水合 末治（町老人クラブ連合会役員）
郷州 明慈（石鉢保育園職員）	野々口淳子（石鉢保育園職員）
糸坪佐知子（石鉢保育園職員）	野沢 トキ（ほのほの交流協力員）
榊 テツ子（ほのほの交流協力員）	木村 禮子（ほのほの交流協力員）
中川 正（心配ごと相談員）	阿部 奨（町社協職員）

大会長授与

《感謝の部》

・高額寄付者（5万円以上）

小松 雅也	鹿原 タカ	伊藤 孝明	松倉 千工	佐藤 敬子
上野 正蔵	ボランティアサークルけやき			

・高額物品寄付者 有限会社太田技建（車椅子1台）

《表彰の部》 令和元年度階上町社会福祉作文入選者

最優秀 河合 美結（道仏小6年）	川口 陽世（階上中3年）
優 秀 田畑 穂空（階上小5年）	
佳 作 林下 紗奈（大蛇小5年）	佐野 楓華（階上中3年）
平戸 一華（道仏中1年）	



表彰を受ける南上義雄さん



いちごに会による健康福祉劇



石鉢小学校によるボランティア推進校活動発表



道仏中学校によるボランティア推進校活動発表

令和元年度チャリティバザー寄付者（敬称略・順不同）

地区名	寄付者名
石 鉢	廣田勝三、賣井坂栄八、大谷地義雄、中村ヨネ子、外崎礼子、尾崎スミエ、沼田令子、下村タカ、小野寺由貴子、東山 静、久慈喜代、坂上コト、宗前ウメ
蒼 前	小室行弘、大下唯夫、菊池聖真、服部隆穂、木村鉄男、西館 節、山内良子、木村京子、小松朝子、音喜多祝子、中村和子、大下玲子、石田セツ、鹿原チヨ、石山美喜子、江良みつ子、宮崎真佐子
野 場 中	上重一男、関 敏雄、高橋茂男、尾本嘉春、山中国雄、齋藤勝広、成田光男、佐藤昌澄、工藤友子、赤坂由紀江、名久井 律、諏訪トク、山崎真美子、岩崎順子
角 柄 折	松川純悦、松川金次郎、正部家和子、松川ミチ、加藤千鶴子
金 山 沢	壇合勝美、畑中 勇、庭 久男、佐藤光一、伊藤トシ、畑中チセ子、松倉チ工、壇合ひろ子、柳沢和子、畑中順子
田 代	内城君子、戸草内チヨ、水合千枝
晴 山 沢	荻沢一信、根岸 忍
平 内	南 正人
鳥 屋 部	木村ツセ、伊藤ツサ、地代所幸子、鹿原タカ、鹿原恵子、沼沢コト
赤 保 内	吉田重雄、野沢 清、奥山能久、東山京子
耳ヶ伏西	田中 貢、田中綾子、小松千恵子、山田ちか子、栗橋森子、小松サチ、山本幸子、新保泰子、浜登登美子
耳ヶ伏東	小坂正年、大久保和志、宇部浩嗣、山守哲也、藤谷フサエ、山田百子、山崎ムツ本間晴美、松崎光子
荒 谷	荒谷恵子、畑中優子、荒谷きみ子、木村キミ、木村真喜子
大 蛇	中田兼雄、中田久夫、中田牧子、赤松みつ子、坂本千賀子
追 越	中島豊美、二ノ久保利津子、上平千恵子、松橋竹子
榊	日向登美男、北城幸男、浜谷徳平、浜谷光三、永敷健二、金子栄子、永敷有子
駅 前	寅谷正美、澤 雄三、荒谷欣高、松橋隆一、守 政美、南上邦子、竹本肥子、新井田トミ下坪昭子、見附敬子、松橋たつ、浜谷ヤオエ、佐藤敬子、濱浦すみ子、寅谷真理子
道 仏	高山貞子、玉木生子、八森ユキエ
小 舟 渡	上平 稔、下野秀男、下野禮知子、下野京子、岩城恵子、佐藤紀美子、重文字春枝、藤田テイ子、佐京勝江
町 外	鈴木 洋、信田テイ、森 一晃

「介護講座」受講者募集！

介護などでイライラしたり、怒ってしまって後から後悔してしまうことはありませんか？日常生活で感じる感情のコントロールについて学んでみませんか？

◇日 時 令和元年12月23日（月）10：00～13：00
◇場 所 ハートフルプラザ・はしかみ
◇対 象 ・在宅介護者の会会員
・現在家庭で高齢者等の介護をしている方
・アンガーマネジメントに興味のある方

◇内 容 10：00～11：30 アンガーマネジメント講座
「怒りと上手く付き合う方法」
講師：アンガーマネジメントファシリテーター 才神敦子氏
12：00～13：00 昼食、情報交換会

◇参加費 無料（介護をされていない方500円）
◇申込方法 12月18日（水）までに①氏名、②住所、③年齢、④電話番号を電話かファックスでお申込みください。

※申込・問合せ先 階上町社会福祉協議会
電話88-3067 ファックス88-3069
※必要な方にはハートフルプラザまでの送迎もいたします。
※詳しい内容等は、申込者へ後日お知らせいたします。

編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内 ☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり21.04円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）

チャリティバザー開催！

ボランティアサークルけやき主催のチャリティバザーが、今年も町文化祭に併催し十一月二日、三日の二日間開催されました。一千四百点以上の物品を町内外からご寄付いただき、二日間たくさんの方々にご来場いただきました。

なお、売上金、二九五、九六五円から必要経費を差し引いた全額を社会福祉活動費として社協へご寄付いただきました。ご来場並びに物品寄付にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。本紙上をもってお礼にかえさせていただきます。



あたたかいご寄付 ありがとうございます

○ボランティアサークルけやき 様
金 285,832円
○青森県市町村職員年金者連盟
三八支部長 鈴木孝義 様
金 5,000円

弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】
～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

■日時 12月24日（火）
午後1時から午後3時（1人20分以内）
■場所 ハートフルプラザ・はしかみ
・相談は予約制（先着6名）です。
予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067



QRコード

社会福祉作文入選作品

第四十回社会福祉作文に、今年は三十四編の応募をいただき、審査会において六編の入選作品（最優秀二編、優秀一編、佳作三編）が決まりました。その中から最優秀の作品をご紹介します。

【最優秀】

「いつも明るく心の

優しい看護師に」

道仏小六年 河合 美結



私には、去年亡くなったひいおばあちゃんがいます。ひいおばあちゃんは、ずっと見心園で生活していました。私は、いつもおばあちゃんと一緒にひいおばあちゃんに会いに行きます。いつも見心園に行くと、見心園の方々は、「今日は、ゼリーを食べましたよ。」

「今日は、みんなで生け花をしましたよ。」と、ひいおばあちゃんの様子を、笑顔で教えてくださいました。それを聞いたおばあちゃん

「本当ですか。よかったです。」と答えます。なのでおばあちゃんは、安心して家に帰ることが出来ます。

私たちが、ひいおばあちゃんの部屋の中に入ると、ひいおばあちゃんの写真がいっぱい飾ってあります。アルバムに貼っていたり、壁にきれいに貼ってあったりします。その写真を見ると、見心園でひいおばあちゃんが楽しく生活しているんだなと感じ、うれしくなります。

また、見心園には行事がたくさんあります。生け花の日や、夏祭り、秋祭り、節分などがあります。どのイベントも、ひいおばあちゃんは、楽しそうにやっています。それも、見心園の方々のおかげだなと感謝しています。そうかに出て、見心園に入っている方たちの写真がたくさん飾られてあります。写真に写っている人たちは、本当に楽しそうに笑顔で活動しています。私は、ひいおばあちゃんと話をするのが少し苦手でした。

なぜかという、とても緊張するからです。

ひいおばあちゃんの部屋に行くと、おばあちゃんにいつも、

「ほら、美結も話したら。」

と言われます。そこで私は、

「美結だよ。」

と、話しかけます。すると、あまり聞いていなかったひいおばあちゃんの目が、少しだけ開きます。これは、私が小さいころからのひいおばあちゃんのくせです。私が一年生や二年生だったころ、弟たちと三人でひいおばあちゃんのところに行くと、話しかけていました。そうすると、いつも「にこっ」と笑ってくれます。そんなひいおばあちゃんの顔をみると、とてもうれしくなります。私たちは、何度か話しかけます。

でも、一つだけ、悲しいことがあります。それは、ひいおばあちゃんが私のことを、

「麻裕美。」と、呼ぶことです。これは、私の母の名前です。ひいおばあちゃんは、私と母を間違えてしまつたのです。なので私は、

「美結だよ。」と教えます。そうするとひいおばあちゃんは、

「美結。」

と呼んでくれます。ひいおばあちゃん、私の名前をちゃんと覚えてくれるのを聞くと、とてもうれしくなります。普段はあまり話さなくなったひいおばあちゃんでしたが、私が、

「美結だよ。」

と、声をかけると、目を開いたり私を見つめたりといつも反応してくれました。そんなひいおばあちゃんの様子を見ると、緊張感が解け、また会いに行きたいなと思います。

しかし、去年の十月、ひいおばあちゃんは、亡くなってしまいました。ひいおばあちゃんが亡くなるまで、見心園の方々は、家族みんなの心に寄り添い、優しく、明るく接してくれました。

ひいおばあちゃんが亡くなった時、家族や親戚の人たちみんなで今までの感謝の気持ちを伝えようと五十個以上の折りづるを折りました。私は、私が小さかったころの楽しかった思い出や、今まで一緒にいてくれてありがたうという気持ちを込めてづるを折りました。みんなが心を込めて折った、たくさん折りづるとお花で、ひいおばあちゃんをきれいに飾ってあげました。弟たちは、ひいおばあちゃんの似顔絵を描いてあげてい

ました。

見心園の方々は、ずっとひいおばあちゃんのことを優しく、明るくお話ししてくれました。見心園の方々には、心から感謝しています。

私は、見心園の方々とのお話を通して、一つの将来の夢を見つめました。それは、看護師になることです。看護師は、知識はもちろん必要ですが、一番大事なことは、誰にでも笑顔で優しく接することだと思います。私はひいおばあちゃんをずっと見守ってくれていた、見心園の方々のような、心の優しい看護師になりたいと思います。

【最優秀】

「高齢化社会と

介護福祉士と私」

階上中三年 川口 陽世



私の母は、介護福祉士です。階上町社会福祉協議会に勤め、ホームヘルパーをしています。

保育園の頃、私は母によく行かないでと言って、泣いて困らせていました。そのような私に母は、

「お母さんが行かないとご飯を食べられない人がいるんだよ。」

と、言いました。その時の私には母の言った言葉の意味が全く分かりませんでした。小学生になり、少しずつ母の仕事のことは分かったわけではありません。朝早く出かける日、話をしたいことがあるのに忙しそうにしている時など寂しいと思うことが時々ありました。小学校六年生の授業でお年寄りのこと、身体の不自由な人のことについて調べる機会がありました。そして、社会には一人で動くことが困難な人、一人でトイレに行けない人、一人でご飯を食べられない人がいることを知り、だれかの支えを必要としている人がいることを知りました。そして、初めて母の言っていた言葉の意味が分かりました。そこで、母に介護福祉士の仕事について聞いてみました。

介護福祉士とは、お年寄りや身体の不自由な人への身体介助、生活介助を行う仕事だそうです。身体介助とは、主

にトイレ誘導やおむつ交換、入浴介助などの身体的介助のことです。生活介助とは、主に掃除や洗濯、買い物などの家事の代行、つまり生活的介助です。介護福祉士の仕事は、高齢化社会にはとても必要な仕事だと思っています。また介護福祉士は、お年寄りや身体の不自由な人一人一人に寄り着くことができるやりがいのある仕事だと思っています。そして、誇れる仕事だと母の姿を見て思いました。しかし、介護福祉士の数は、必要としている人の数に対して足りていないのが現実です。もっともっと若い人の手が必要なのだそうです。

そこで私たち中学生も高齢化社会において力になれることはないか考えてみました。高齢化社会は、高齢者の数が若人の数より多くなっている社会です。これは高齢者一人を支える人数が激減するということです。中学生は介護福祉士のように介助することとはできませんが、ボランティアに参加したり、募金をしたりすることはできます。高齢者一人を支える人数が少ない分、協力し、力を合わせて支えられることを考えることはできます。「人」という



字に支え棒があるように、人と人が支え合いながら生きていけるようだけれど楽しい人生をおくることのできるよう考えることはできるはずで

す。また、「コミュニケーションをとることで身体介助への力、お手伝いをする」こともできます。

実際に、一人暮らしのお年寄りの家に行き話し相手になる活動や、雪かきのボランティア、建築の勉強をしている高校生は、家のバリアフリー化としてリフォームのお手伝いをしています。ですから、まずは動き出すことなのかもしれません。私にできることから始めていきたいと思います。

将来私はどんな仕事に就くか決めてはいませんが、まずは思いやりの心をもち、だれかのために支えられる人になれるよう生きていきたいと思っています。

年末年越し給食サービス をご利用しませんか

～おせち料理をお届けいたします～



社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 令和元年12月31日（火）
 - 配達時間 午後1時～3時
 - 利 用 料 無料
 - 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・令和元年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は除きます。
 - 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を12月20日（金）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
 - 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067
- ※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。

配達ボランティアを募集します

社協で実施する「年末年越し給食サービス」に関わる、配達（運転）ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- 期 日 令和元年12月31日（火）
- 活動時間 午後1時～3時（集合時間12時20分）
- 集合場所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 内 容 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達
・配達は自家用車となります。
階上町内5件～10件程度
- 配達範囲 12月20日（金）
- 申込期限 車両燃料は自己負担となります。
- そ の 他 ボランティア活動保険は本会で加入いたします。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067